令和6年3月31日
さぎそう学舎
世田谷区立九品仏小学校
校 長　　笛 木　　毅

次年度に向けた改善方策

(1)キャリア教育について

令和6年度2月には、の6年生に対してスポーツインストラクターとして活躍をされている本校卒業生と医師としてご活躍をされている本校保護者の皆様をお迎えし、キャリア教育の学習を行った。3月には、侍ジャパントップチーム監督井端弘和様をお迎えし4～6年生がキャリアについてのお話を伺った。

令和6年度は、年間数回児童が自分の生き方や将来について考えるために、児童朝会で、地域の方々や卒業生、保護者などのお話を伺う機会を設定する。「世界を知る、他者を知る、自分を知る」の三つの学びを大切にして自分自身をデザインする「キャリア・未来デザイン教育」の推進を図る。

(2)地域とともに子どもを育てる教育ついて

令和5年度は、コロナ禍の影響で中止になっていた中学校との交流活動や地域の行事が復活し交流が行われてきた。

令和6年度は、「地域とともに子どもを育てる」のもと、「さぎそう学舎」3校4園による学校と地域の連携・協働を継続して推進する。

(3)重点目標ついて

令和5年度は、学校だよりや「九品仏のきまり」、学校要覧、ホームページなどを通して情報を発信してきた。

令和6年度は、重点目標を抽象的な言葉から具体的で短い言葉で示し、学校要覧では重点目標を中心とした要覧とする。

(4)教育相談体制

令和5年度は、相談室を事前予約制にし、スクールカウンセラーと保護者や児童がじっくりとカウンセリングを受けやすい体制を整えてきた。同時に、毎週金曜日に生活指導夕会を教職員で行い情報の共有を図ってきた。

令和6年度は、生活指導主幹が中心となり教育相談主任と特別支援コーディネーター、主任養護教諭、スクールカウンセラーが連携し情報の整理と方策について検討できる組織をより活性化する。